

Life is so precious!

仕事も人生も もっと楽しく! 美しく! — 2 —

撮影/Javier Peñas 取材/Yuki Kobayashi



緻密で美しい作品で 読者の想像力を刺激する スペインの人気漫画家

漫画家
アナ・ミラリエスさん

51歳。スペインの老舗コミック雑誌で'82年より創作を開始。'94年、ファンタジー『エバ・メドゥーサ』の作画で一躍話題に。'01年からベルギー人作家のシナリオによる、トルコのハレムを舞台にした『ディン』を出版中。'09年、バルセロナのコミック見本市で女性として初の受賞。

スペイン北西部の小さな村から、さらに数キロ離れた小高い丘の上。かつては農家だった古い建物をそのまま生かして、天井に太い木の梁をそのまま残して、天井に改築したアトリエ兼住宅で、アナさんは制作に励んでいた。大きな窓からは緑の丘と、のんびりと草を食む牛や馬たちの姿。遠くにはカンタブリア海の水平線がきらめく、素晴らしい環境のなかで生み出されるのは、漫画というより、ひとコマひとコマに丹念に緻密な絵を描き込んだような、緻密で、ため息が出るほど美しい作品だ。

「絵を描くのが好きで、美大に進学し、5年間学びました。当時のスペインは、独裁政権が終わりを告げ、フランスをはじめとする海外の大人向けコミックが大量に入ってきたところで、それが、絵を描く私たちにはすごい衝撃だった。『少ない予算でだれもが買えて、大勢の人にってもらえる絵を描く』というコミック作家の仕事は、『教鞭をとるか』『壁にかかるような絵を描く』ことよりも、私には魅力的に思えたの。細々と漫画を描き続けながら、村の宣伝ポスターや、小さな商品イラストを描いていた時代もありました。けれど、今でも交流のある仲間たちや、尊敬する作家との出会いに勇気づけられ、自分はこの世界でやっていく、という思

いが揺らぐことはなかった」
出世作『エバ・メドゥーサ』以来、何人かのシナリオ作家とのタッグで作品をつくっている彼女。刊行中の『ディン』は、10年目、10巻に突入した。一日8時間、休みなく制作を続ける彼女の机の脇には、描いては削りを繰り返して短くなった鉛筆がたくさんあった。「私の仕事の最大の犠牲者は夫(笑)。目下の目標は、バカンスでまとまった時間を一緒に過ごすことかしら。仕事とともに旅をすることはあっても、私はコミックの見本市へ、彼はシナリオ作家としてネタを探しに街へ、と、現地では別行動なんだもの(笑)」

世界各国キャリアへ、5つの質問

- Q1 仕事の成功のためにしている習慣は?
規則正しい制作リズムと、つねにプロジェクトをもっていること。
Q2 バッグに必ず入っているもの3つは?
鏡、筆記用具、スケッチブック。
Q3 あなたの街のストレス解消スポットは?
プール! 水が大好きなので毎日泳いでいます。
Q4 理想の週末の過ごし方は?
家に来てくれた家族や友人と一緒に過ごす。
Q5 人に言われてうれしいほめ言葉は?
「あなたの作品をきっかけに、妻(恋人)が漫画好きになった」



CANTABRIA